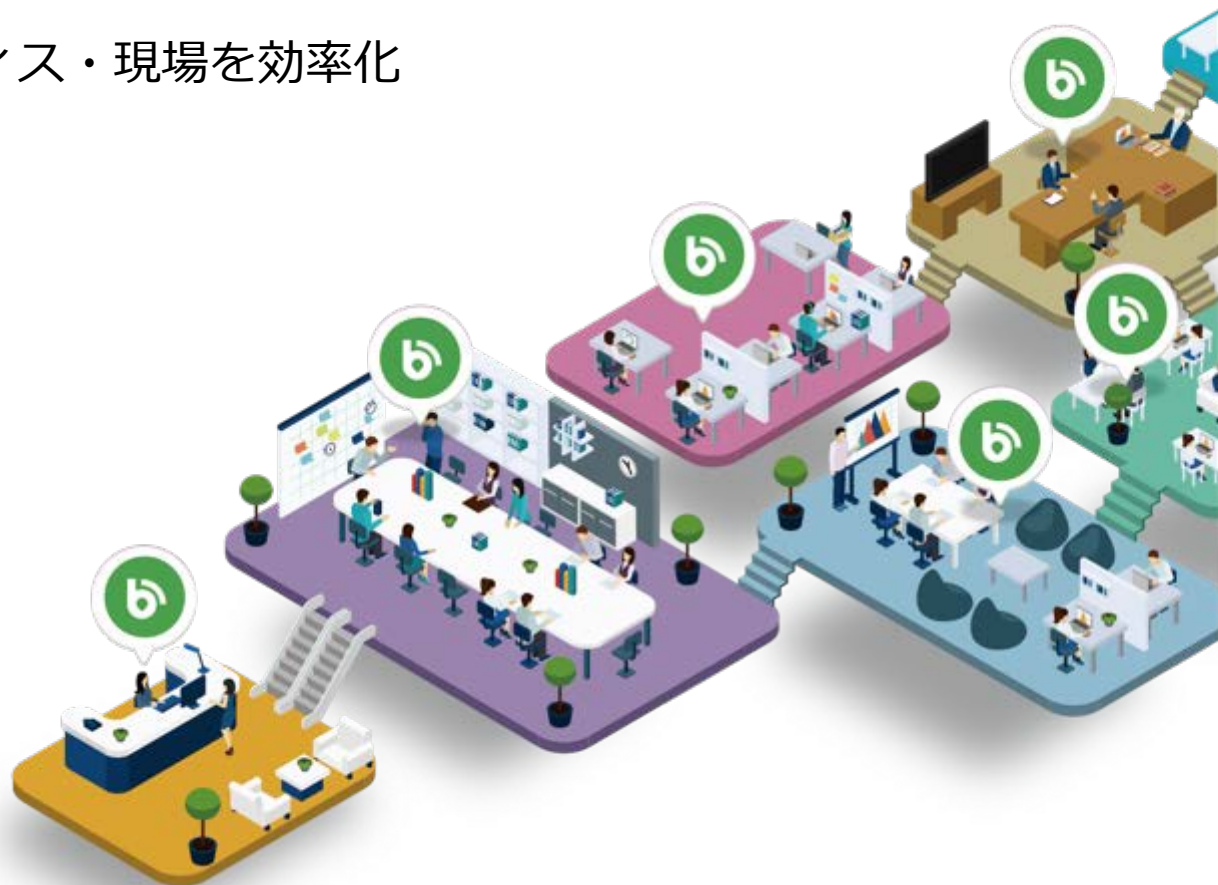




所在地見える化ソリューション

Beacapp Here

ビーコンとスマホでオフィス・現場を効率化



株式会社ビーキャップ



商号 株式会社ビーキャップ

代表者 代表取締役 中垣 雄

設立 2018年12月  
(2019年3月 株式会社ジェナより会社分割により独立)

資本金 990万円

所在地 < 本 社 >  
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2丁目9番7号 BLE人形町ビル3F  
TEL:03-6673-9781 FAX:03-6673-9774

株主 役員  
株式会社ジェーエムエーシステムズ(日本能率協会グループ)

事業内容 現在地見える化ソリューション「Beacapp Here」の開発・販売・運営  
ビーコン管理プラットフォーム「Beacapp」の開発・販売・運営  
ビーコンを活用したアプリケーションの開発  
ビーコン端末・受信機の設置  
ビーコン検知ログを活用したレポート作成  
スマートフォンアプリケーションの開発  
WEBシステムの開発

ビーコン連携アプリの開発/設置/運営実績では、国内で最大級の実績を有しています。

## Beacon 設置箇所

# 150

現場

### 多数の実績

オフィス、工場、建設現場  
病院、大学、小売、飲食店など  
あらゆる現場を経験

## 設置運用実績

# 30,000

ビーコン

### ワンストップサービス

ビーコン端末の現地設置  
→ログ解析→レポートまで  
ワンストップで提供



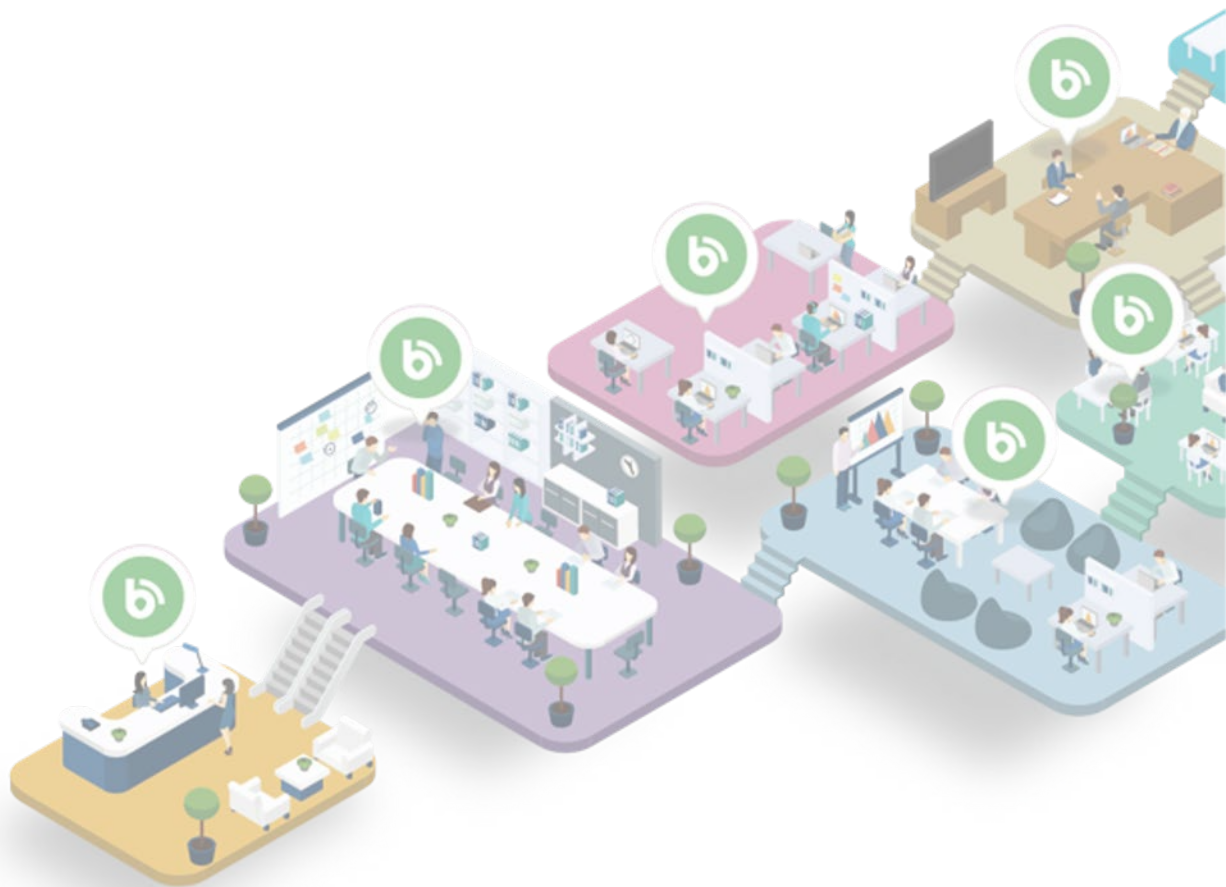


あらゆる現場を可視化する。

- 我々はビーコンやセンサーとスマートフォンを使い現場の今を見える化し、課題解決に貢献して参ります
- 高コストで時間のかかるIoTの世界を変革し、手軽で安価に導入できるサービスを提供します



# 1 Beacapp Hereについて



Beacapp Hereは、ビーコンとスマートフォンを使って、  
オフィスや工場・倉庫などのマップ上で所在地を確認できるクラウドサービスです。

point  
1

### リアルタイムな所在地把握 ※1

現場のマップを使って、従業員がどこにいるか、PCからでもスマートフォンからでも簡単に確認できます。

※1 ビーコンによる位置情報の把握については、精度を100%保証するものではありません。

point  
2

### オフィス・工場内の行動データ解析

時間帯別の人の配置や、エリアによる利用者の偏りなどを可視化するためのグラフ機能をご提供します。

近距離無線通信でありながらリージョン(領域)を持つ技術です。  
アプリはビーコン端末との距離に応じて、さまざまな動作を実行できます。



### BLEを採用

受信側の消費電力が少なく、スマートフォンが標準で搭載しているBluetooth Low Energyの規格を採用しています。

iOS7.1以上、Android4.3以上の機種で標準搭載されています。



### ビーコンの距離

GPSよりもさらに近距離・高精度の位置情報を利用することができます。

30cm, 2~3m, and 30mの3段階の距離を検知することができます。



### ビーコンの種類

端末価格や大きさはメーカーによってさまざまです。1台あたり3,000円から8,000円ほどで販売されています。

設置場所や設置期間、予算に応じて最適なメーカーのビーコンを選定します。

アプリとの連携が容易で様々な用途で使えて、従来の技術と比較しても導入コストが最も低い端末です。

## オフィス・会議室で

- フリーアドレスのオフィスで社員がどこにいるのかわからず効率が落ちた
- 本社が複数階に分かれていて、人を探すのが大変
- 災害発生時にオフィスに誰が残っているのか把握したい
- 会議室や食堂の利用状況を把握したい

## 工場・物流センターで

- 広大な敷地でスタッフがどこにいるのかわからない
- 所定の場所でスタッフが働いているか遠隔から把握・データ管理したい
- 災害発生時のBCP対策に利用したい

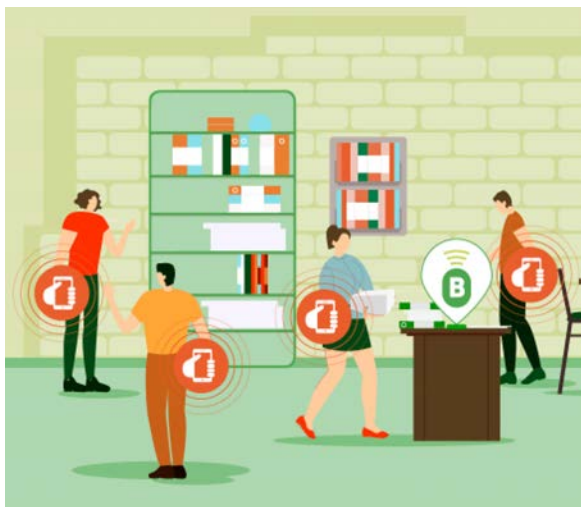
## その他現場で

- 建設現場で作業員の位置を把握しながら指示を出したい
- 病院で医療従事者の勤怠記録の取得を行いたい



### スマホ導入済み

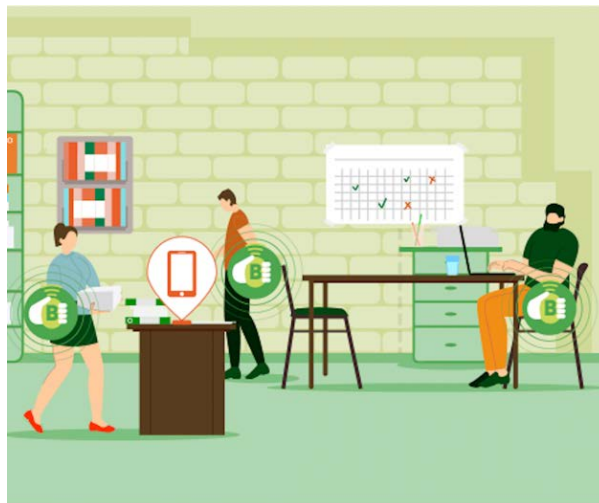
社員様がスマホを持ちます



オフィスや工場・倉庫などの現場にビーコンを設置するだけで導入可能です。

### スマホ未導入※

社員様がビーコンを持ちます



現場にスマホを受信機として設置し、社員様にビーコンをお持ち頂くことで導入可能です。

### 併用版

社員様がスマホとビーコンを持ちます



スマホとビーコンが混在したパターンでも導入いただけます。オフィスにはビーコンを設置し、社員様が持ち歩いているスマホを受信機として活用します

スマートフォンの導入状況に応じたご提供が可能です

## それぞれの導入方式により仕様に若干の差があります

検知率は「滞在している場合にビーコンを検知できる割合」を指します。正しい場所に表示されるかどうかは、設置場所や端末などにより変化いたしますので目安としてお考えください。

「併用版」では持ち歩いているスマホを受信機として利用しますので、フロアに在席している人のうち、スマホをお持ちの方の割合が低い場合は正しい場所に表示されない可能性が高くなります。

項目	スマホ持ち歩き	ビーコン持ち歩き	併用版
アプリ	App Store/GooglePlayよりBeacapp HereアプリをDL	App Storeより受信専用アプリをDL	App Store/GooglePlayよりBeacapp HereアプリをDL
OS	iOSおよび一部のAndroid端末	iOSのみ	iOSのみ
現在地の閲覧	WEBブラウザアプリ	WEBブラウザアプリ	WEBブラウザアプリ
検知率	90%以上 <small>・スマートフォンの機種やOS, スマホの状態によって検知率に差が出ます。</small>	95%以上	90%以上 <small>・スマホが導入されている割合により大きく変動</small>
場所の精度 (目安)	概ね5~10mの精度で表示されるが、やや精度が低い	滞在している場所に表示される可能性が高い	スマホが導入されている割合によって大きく変動
不在判定	ビーコンを検知しなくなってからN分後に不在判定	ビーコンを検知しなくなってからN分後に不在判定	ビーコンを検知しなくなってからN分後に不在判定

従来の屋内測位方式よりも短期間・低コストで導入可能です。  
マップやビーコンを自由に設定変更でき、即座に現在地表示や行動データの可視化を実現します。



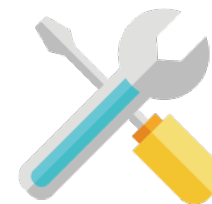
スマホでもPCでも  
社員の所在を  
リアルタイムに把握



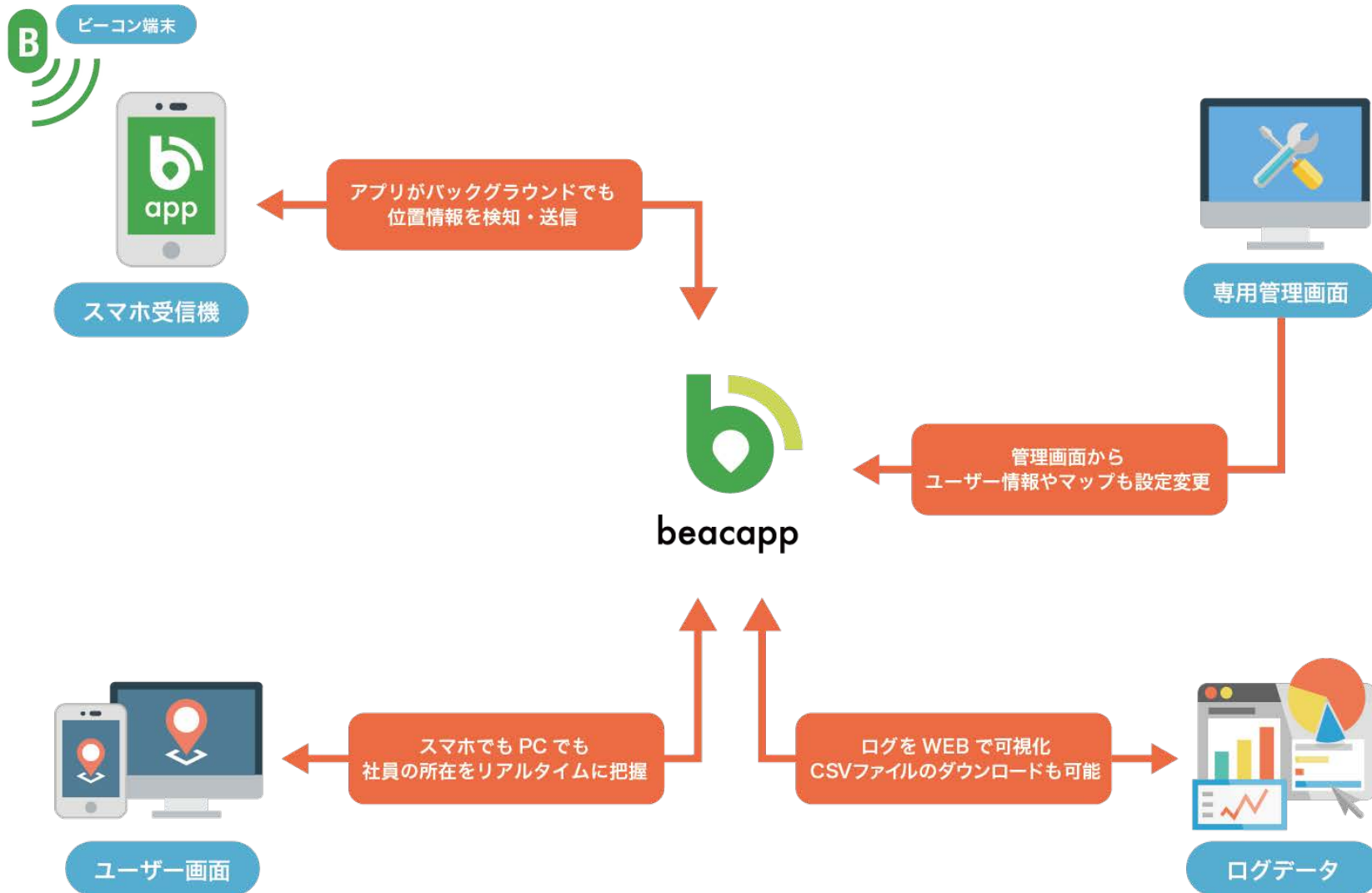
行動データのログ  
CSVファイルの  
ダウンロード可能



アプリが  
バックグラウンドでも  
位置情報を検知・送信



管理画面から  
ユーザー情報や  
マップも設定変更



AppStore / GooglePlay (※) からアプリをインストールいただき、会社ID,ユーザーID,PWでログインします。



### ダウンロード方法



1. AppStoreを起動
2. “BeacappHere”を検索
3. ダウンロード



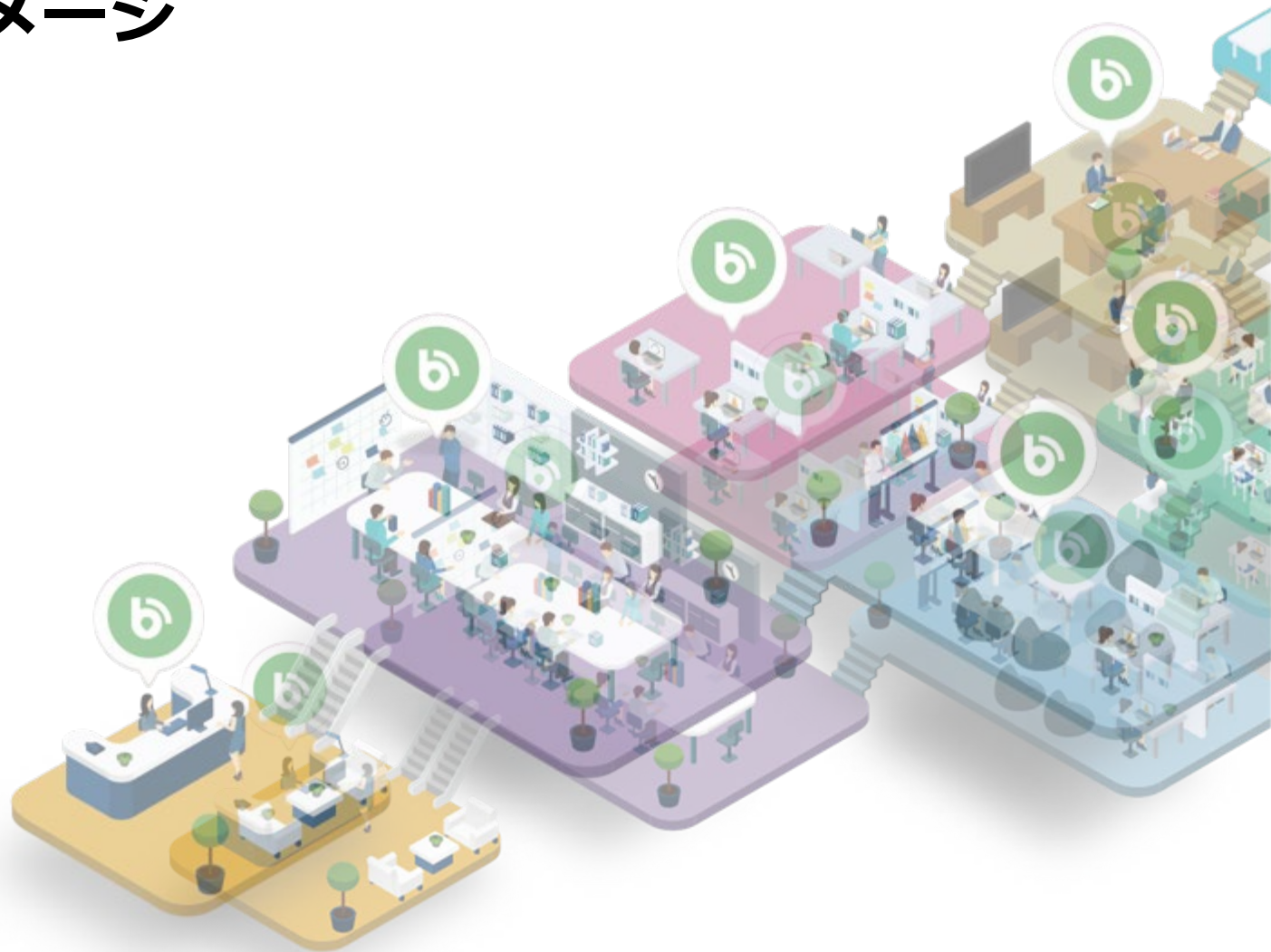
### ダウンロード方法



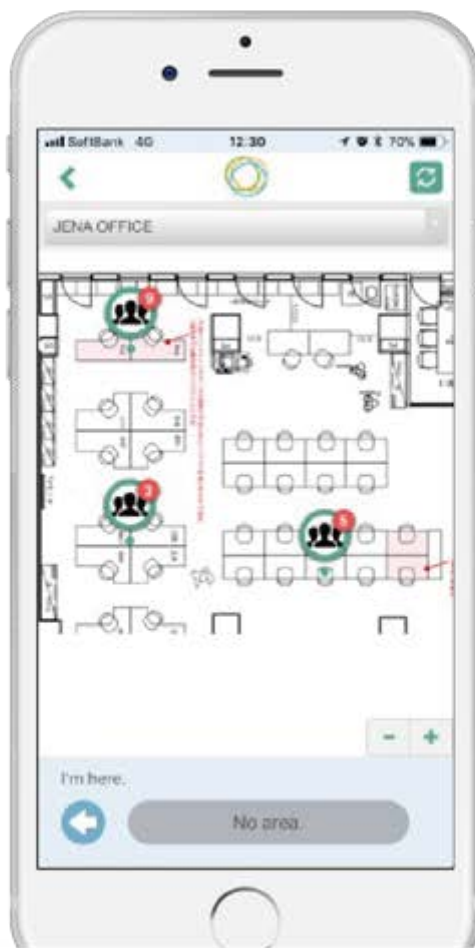
1. GooglePlayを起動
2. “BeacappHere”を検索
3. ダウンロード



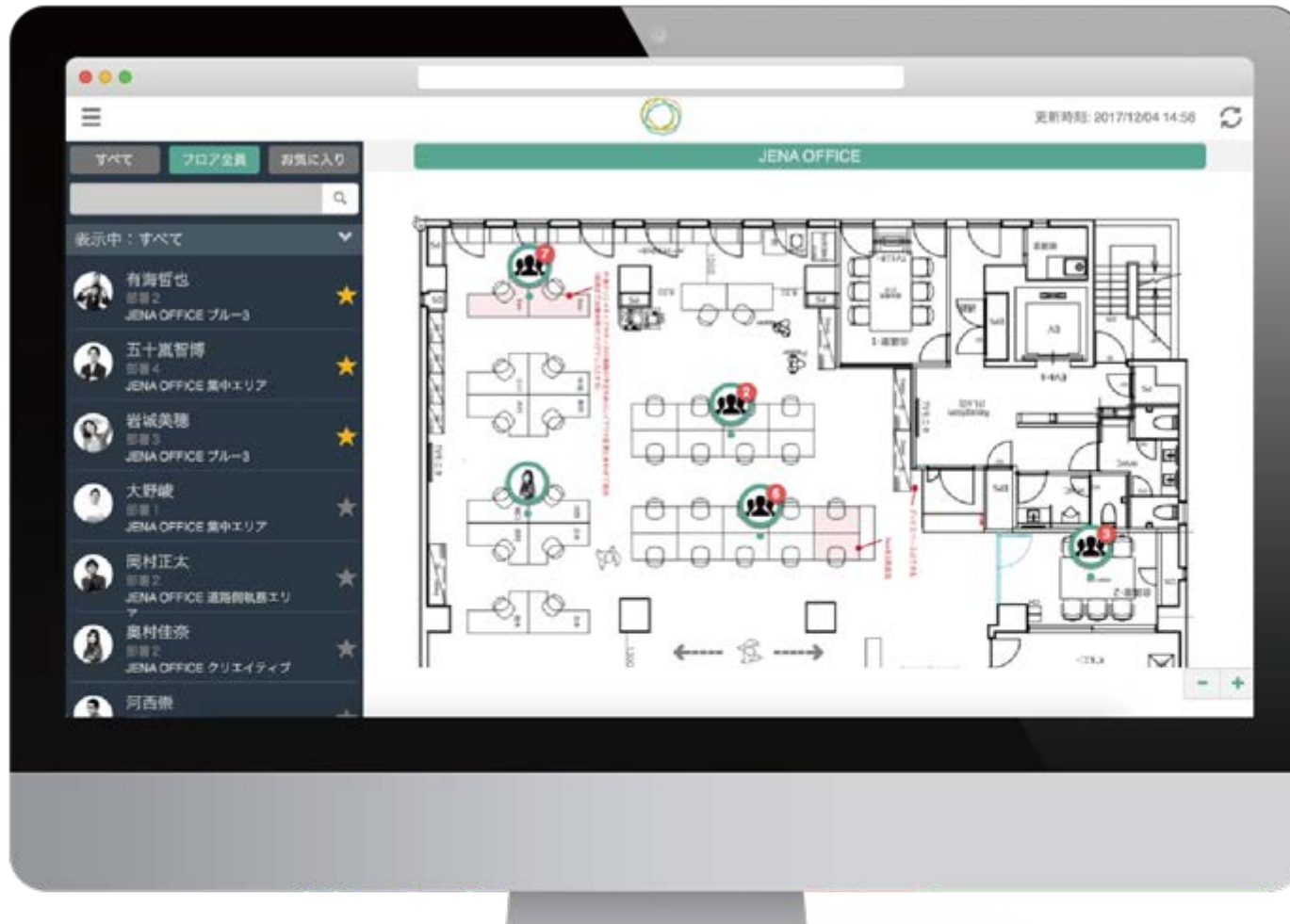
## 2 画面イメージ



ユーザー情報を入力し、ログインをします。  
誰がどこにいるのか、スマホでもPCでも簡単に確認できます。

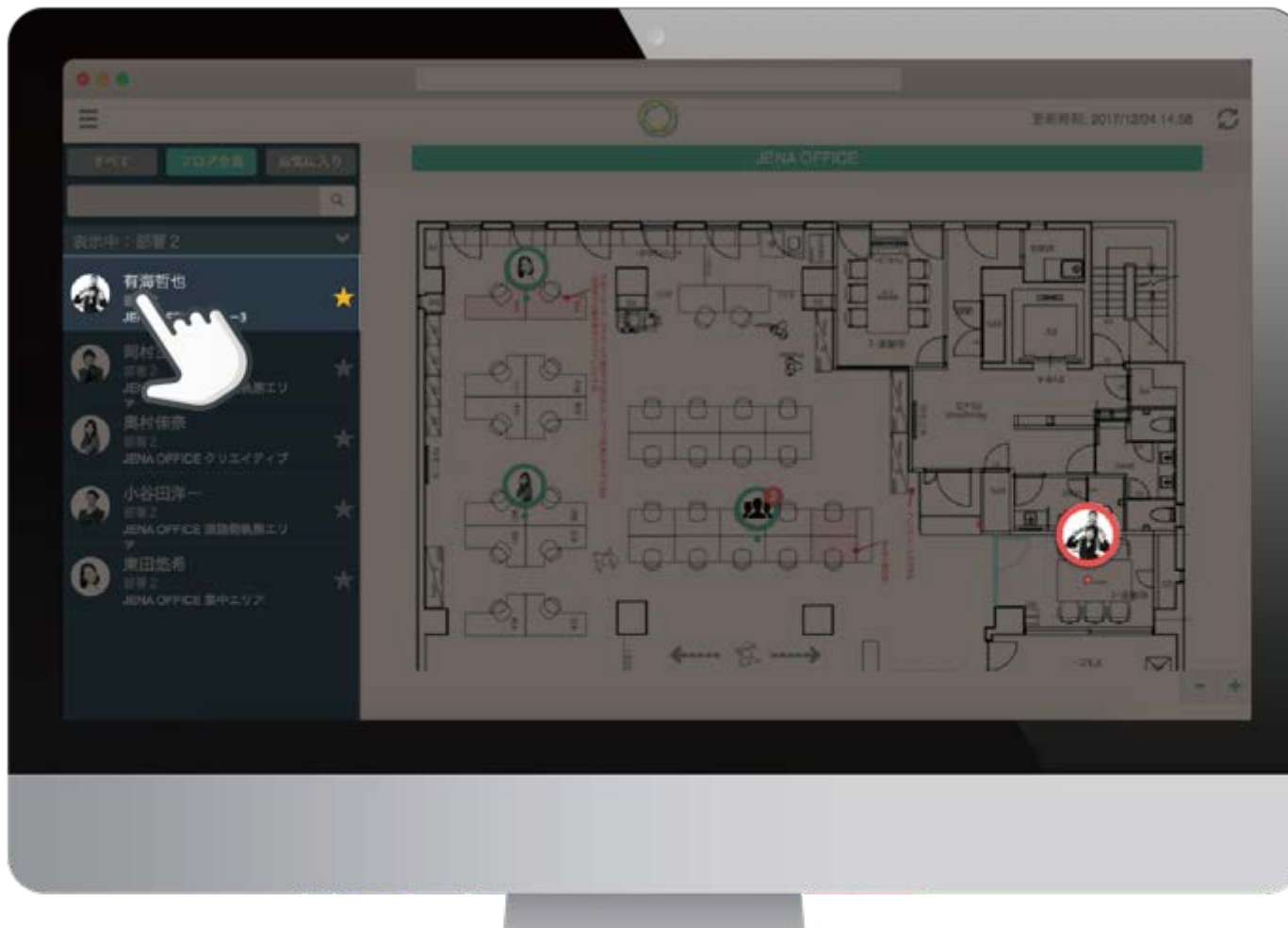


PCのメイン画面のイメージです。

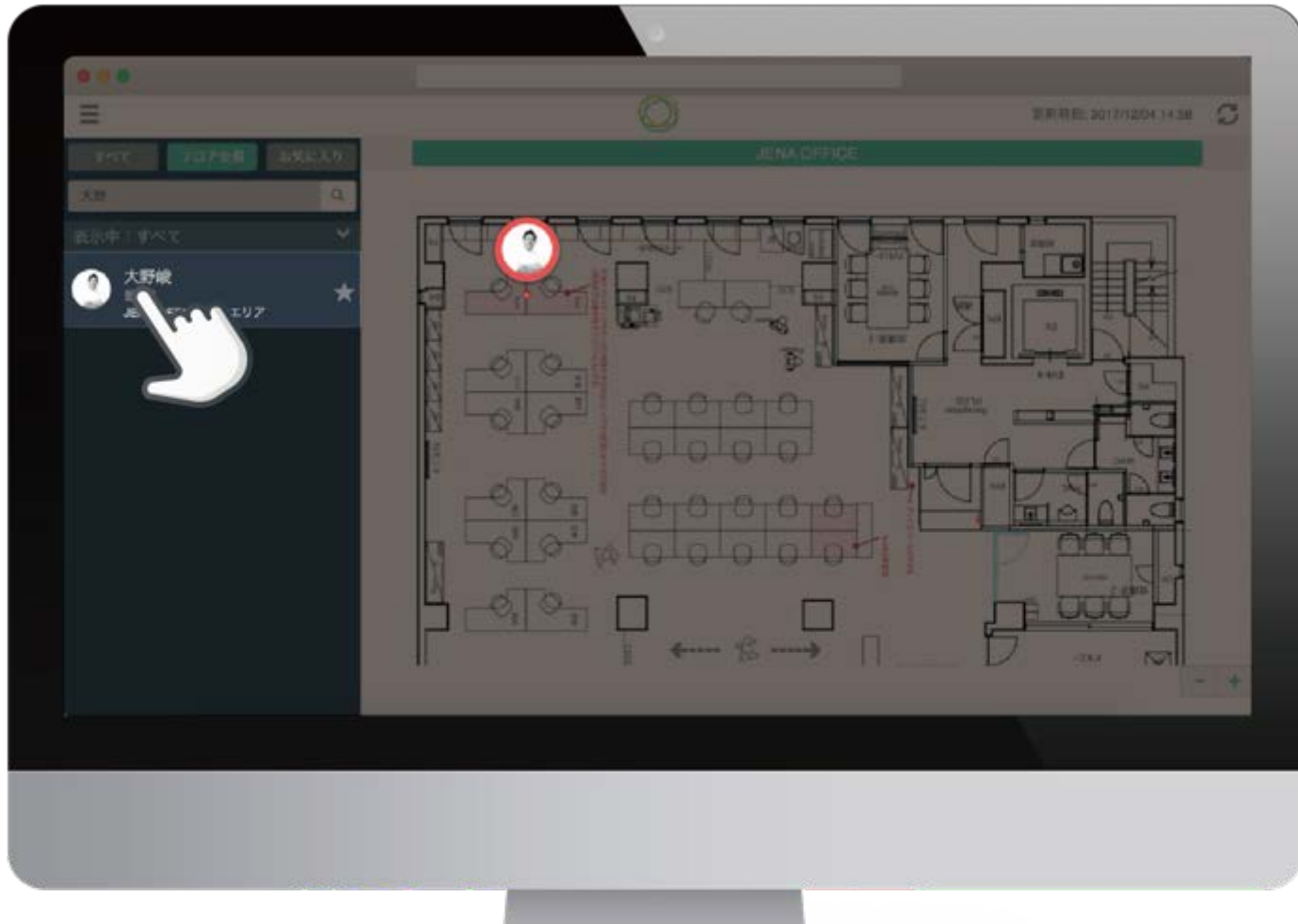




探したい人をクリックすると、どこにいるのかが分かりやすく表示されます。



名前で検索、絞り込みすることですぐに見つけることができます



部署で絞り込みすることもできます。



## 外出中の社員が会社に帰ってきたらメールで通知する機能です

こんな時に便利！

- ✓ 上司が帰ってきたらすぐに捺印を依頼したい書類がある！
- ✓ 部下がきちんと出勤しているかを確認したい！



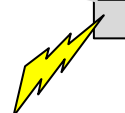
通知して欲しい人を  
「おかえり予約」



自分のPCにメールが届く！  
「A様が〇〇に帰ってきました」



予約された人が帰社し  
オフィスのビーコンを検知

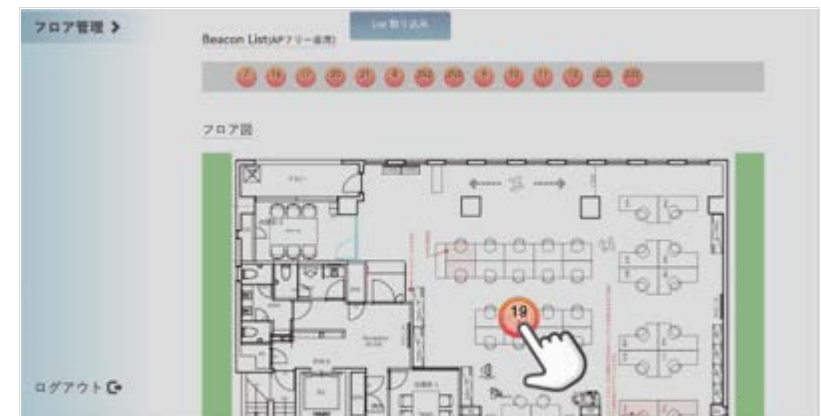


管理画面からフロア図面を簡単に差し替えできます。



### マップはお好みの画像を選択するだけ

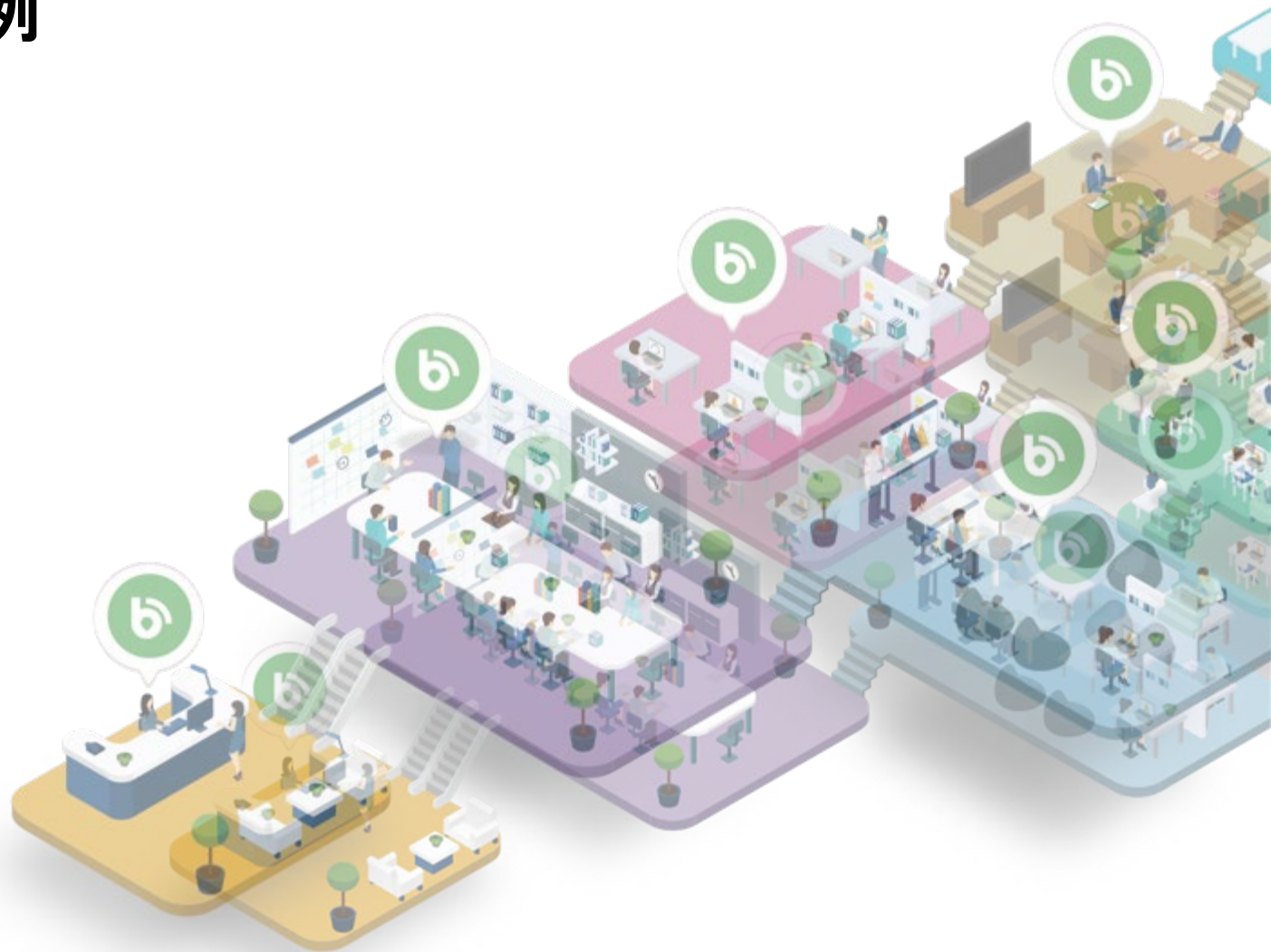
フロアマップはお好みの画像を選択できるので、詳細な間取り図や見やすくデザインしたマップなど自由に選択できます。



### ビーコンの配置はドラック&ドロップ

マップの任意の位置にビーコンを配置するだけなので、直感的に操作できます。また、実際のビーコン設置位置を変更した際も簡単に変更が可能です。

## 3 導入事例



## 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の割り出しにビーコンログが活用されています。

### ビーコンログで同一場所に滞在していたメンバーを見える化



- Beacapp Hereでは最も細かい粒度でユーザー様の居場所を1分に1回把握しています。このログを新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の割り出しに利用される企業様が多くいらっしゃいます。
- まず、感染者様の直近2週間程度のログを抽出し、滞在していた場所を明らかにします。その後、同一時間帯に同じビーコンを検知していた他のユーザー様の氏名を調査致します。
- 弊社ではお申し出頂いたお客様に対し、ログの抽出作業と取りまとめ作業を行い、濃厚接触者のリストを作成してお渡ししております。

## b × ソフトバンク株式会社



オフィス



建設・作業現場



工場



倉庫・物流



WeWork日比谷のフリーアドレス対策として採用  
移転前と移転後の働き方の変化をログ解析により毎月レポート

利用者数

1,500

検知エリア数

150



スマホ持歩き型

導入時期

2018年7月～

導入部署

法人事業戦略本部

### 導入経緯

ソフトバンクではこれまでもフリーアドレスにトライしてはいたが、誰がどこに座っているか分からない非効率さもあり、定着させることが出来ませんでした。

今回、We Work日比谷へ移転するにあたり、再度フリーアドレスを採用することになり、Beacapp Hereを導入しました。

また、固定席であった汐留オフィスとWe Workで、従業員の働き方がどのように変化したのか、ログ解析により定量的に把握できることも魅力的でした

### 導入効果

スマホアプリから誰がどこに滞在しているのかを手軽に確認することができるため、ユーザーからは便利になったという声を多く頂いています。

在席率、動線解析などの働き方の変化、会議室利用率、施設滞在時間などファシリティの利用状況を定量的に把握することができ、今後のオフィス運営にデータを活用していく方針です。

8月からは首都圏のサテライトオフィスにも利用を拡大しました。



## b × 株式会社 オカムラ



オフィス



建設・作業現場



工場



倉庫・物流



フリーアドレスのオフィスで社員の居場所を把握  
事例動画URL

<https://www.youtube.com/watch?v=fb0oBaVgYN4&t=124s>

利用者数

150

検知エリア数

30



ビーコン持歩き型

導入時期

2018年4月～

導入部署

ワークスタイルソリューション部

### 導入経緯

オカムラのCO-Do LABOではフリーアドレスを採用し専用スペースをできるだけ廃し、共用スペースを増やし、自ら考えて機能空間を使用するアクティビティ・ベースド・ワーキングを採用しています。

自分のチームメンバーが今どこにいるのかを知りたいという要望があり、提案書や実機のデモを見たことでこれなら使えると判断して導入いたしました。

### 導入効果

ビーコンを30個オフィス内に配置し、従業員様のスマートフォンにアプリをインストールしていただきました。特に操作は必要なく、利用者が何も意識せずともリアルタイムに所在地を把握することができました。Beacapp Here導入前は、スタッフを歩き回って探すということをしていましたが、Beacapp Here導入後は全くそれがなくなり業務効率が上がりました。

利用者からも、わかりやすい、使いやすいという声が上がっており、大変好評を得ています。

## b × 日商エレクトロニクス株式会社



オフィス



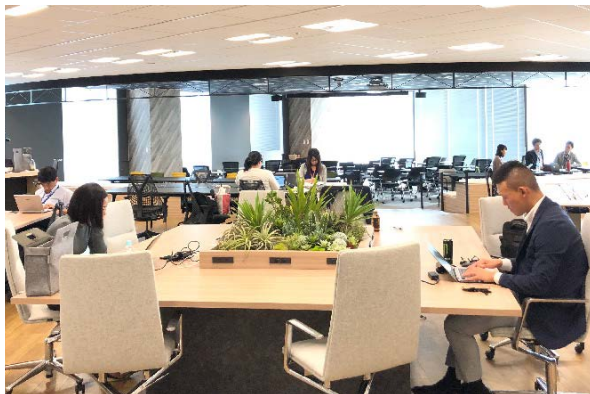
建設・作業現場



工場



倉庫・物流



フリーアドレスでの居場所把握に加え、  
勤怠情報とビーコン検知ログを連携するシステムを構築

利用者数

850

検知エリア数

70



導入時期

2019年1月～

導入部署

人事総務部

### 導入経緯

フリーアドレスを実現するためにはペーパーレス化を進める、電話をモバイル化する、誰がどこで働いているかわからないなど課題がいくつかあった中で議論を重ね、屋内の位置情報を確認できるツールが必要だと思ったのが、検討を開始したきっかけです。

Beacapp Hereを採用した最大の理由はやはりコストです。ゲート式のものやセンサーを使ったものなど、他の方法も検討したのですが、数千万円のコストがかかるものばかりでした。その点Beacapp Hereは格段に安価で工事も不要で導入し易かったのが大きいですね。

### 導入効果

フリーアドレスの採用により、社員が決まった場所にいるわけではないので、普段はslack等のSNSを使ってコミュニケーションを取っています。ただ、どうしても対面で話したいときもあるので、今はBeacapp Hereで確認して声を掛けに行くようにしています。

Beacapp Hereでは社員の行動ログを蓄積できるのも大きな魅力の一つです。総務担当としては、リニューアル後のオフィスの活用状況を把握しておくことは非常に重要なので、例えば、会議室の利用率や利用頻度の高いスペースはどこなのか、などログを解析して見える化していきたいと思っています。

## b × 大手不動産



オフィス



建設・作業現場



工場



倉庫・物流



### 手間のかからない在席確認ツールとして業務効率化を支援

利用者数

300

検知エリア数

80



ビーコン持歩き型

導入時期

2017年11月～

導入部署

#### 導入経緯

フリーアドレス、フレックスなど、多様な働き方が混在する中で、社員がどこにいるのかわからない状況が続いていました。社員が手入力するシステムで在籍確認を実施していましたが、入力が面倒なため、なかなか広がりませんでした。そこで自動で所在把握できる仕組みを探していました。

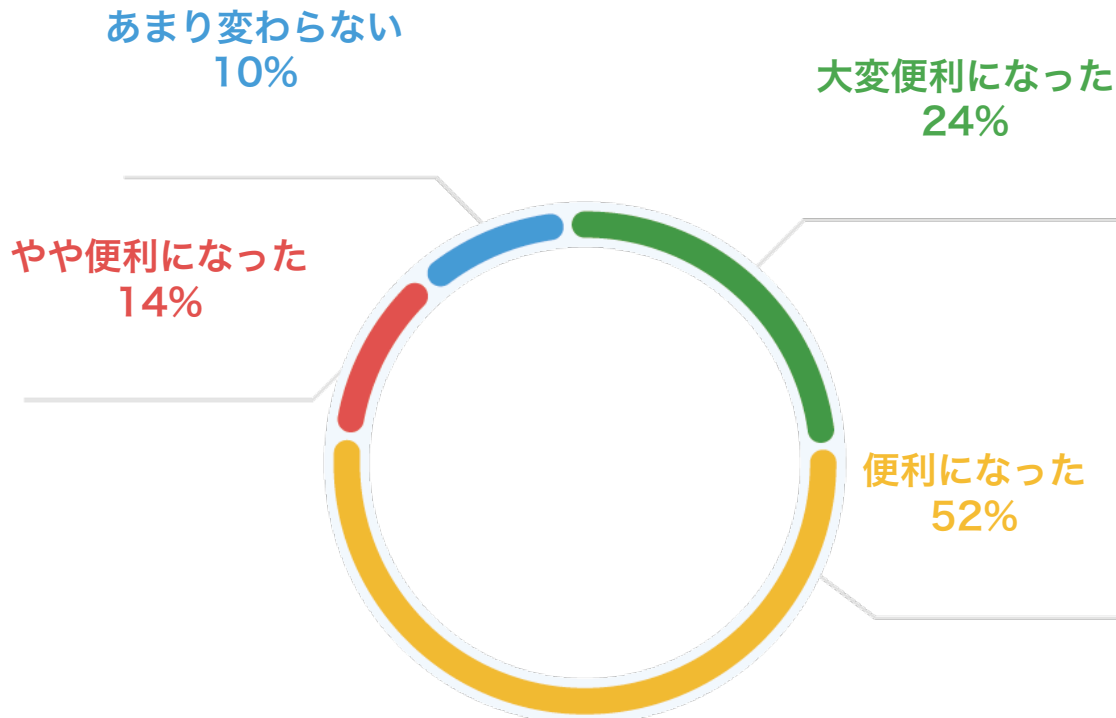
#### 導入効果

導入直後ではありますが、ビーコンを社員が持っているだけで、どのエリアにいるのか、一目でわかるようになりましたので、業務の生産性が向上すると考えています。

## 利用者の **90%**以上の利用者が便利さを実感

### 管理者へのアンケート結果

2019年8月実施



### 🗨️ 利用者の声

#### Q：利用シーンを教えてください

##### 第1位

職場で同僚や上司を探すとき  
アプリから探すことができるのが非常に便利

##### 第2位

外出時にオフィスに誰がいるかを確認するとき

##### 第3位

代表電話に電話が掛かってきて  
電話の取次をするとき

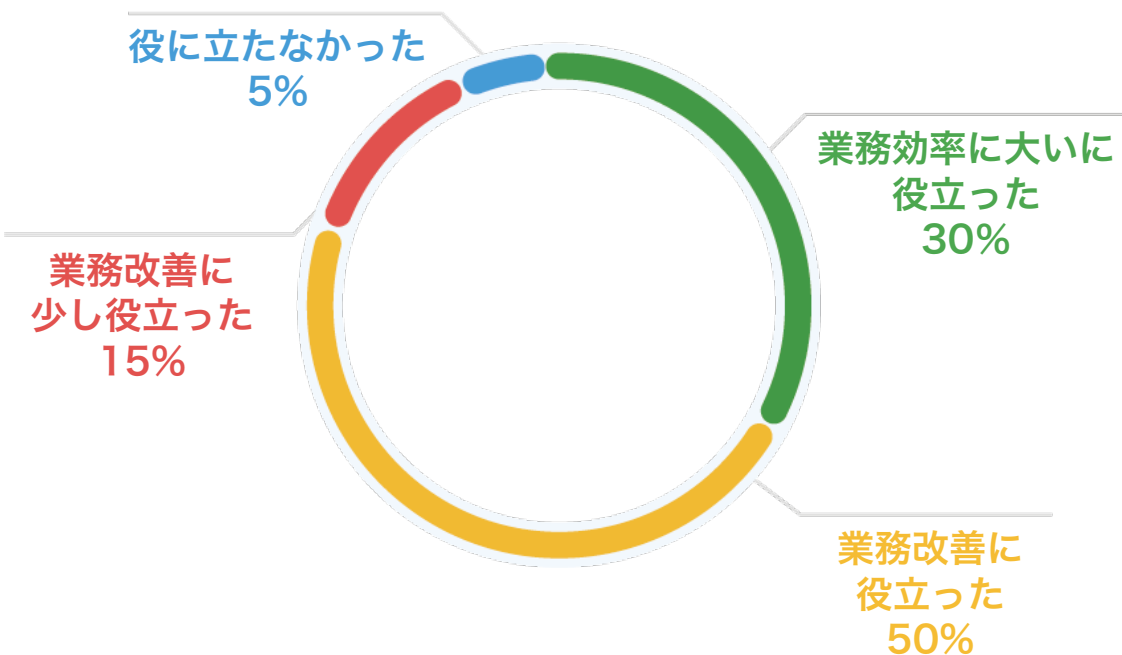
##### その他

人の名前と顔を覚えるのに利用している  
(新入社員)

## 管理者の95%以上が業務改善効果を実感

### 管理者へのアンケート結果

2019年8月実施



### 管理者の声

#### Q：導入効果を教えてください

##### 第1位

フリーアドレスへの不満を解消できた

##### 第2位

ファシリティや空間の利用状況の可視化ができた

ログから色々な視点で分析ができた

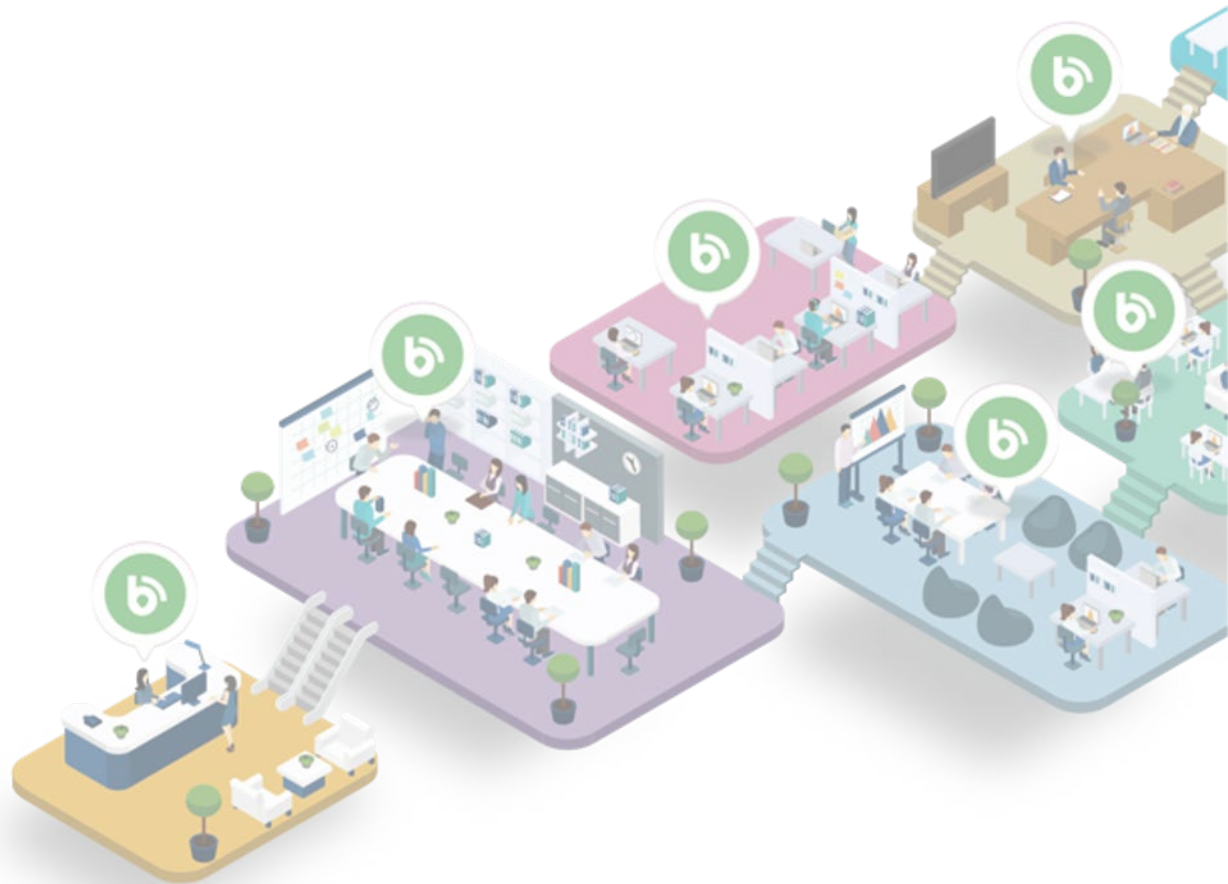
##### 第3位

実際の在館時間を把握できた  
(労務上の対策として)

##### その他

防災訓練で点呼を自動化することができた  
(BCP対策)

## **4** Beacapp Here Pro



## Beacapp Here Proはビーコンやセンサーのログデータからオフィスファシリティの利用率やワーカーの働き方を見える化し、詳細な分析が可能です

point  
1

### ビーコンを設置しスマホを持ち歩くだけ

行動ログはビーコンを設置して、アプリを入れたスマホを持ち歩くだけで自動的に取得され、半日程度の設置作業で簡単に導入することが可能です。

ビーコン以上の精度が求められる場所はセンサーのご利用も可能です

point  
2

### 各種分析が可能なダッシュボード

クラウドに格納された行動ログを様々な視点で分析し、グラフ形式で描画します。

会議室などのスペース利用率のみでなく、働いている場所の分析や部門間の遭遇量など、ワーカーの働き方まで見える化します。

## オフィスコンサルティングの大手である三井デザインテックの監修のもと、 オフィス分析に価値の高い6種類のレポートに対応

### A 働き方分析

自分、あるいは特定の部署がオフィスのどこに滞在して業務をしているのかを分析し、自分の働き方や部署ごとの利用スペースの偏りを可視化します

### B 在館率

拠点ごとに、全体の何パーセントが拠点に滞在していたのか、日別、時間帯別に可視化します。オフィス移転の際の席数の算出などに用いられます

### C 在席率

部署ごとに自席に滞在している割合を可視化します。特に営業部署の場合は活動量の目安としても用いることが可能です

### D スペース稼働率

会議室やオープンミーティングエリアなど、主に打ち合わせに利用されるスペースの稼働率を可視化します。センサーの活用により精度を高めることも可能です

### E スペース利用人数

























会議室やオープンミーティングエリアなど、主に打ち合わせに利用されるスペースの利用人数を可視化し、適正なスペースの広さなどの解析に用います

### F 遭遇量調査（部署）

部署間の遭遇時間、遭遇割合を分析し、部署間の交流の度合いを可視化します。レイアウト変更や部署の統廃合の際の参考データとして用いられます





個人の属性が特定可能となったことで、従来の人力調査では分析不可能だった項目が分析可能となりました

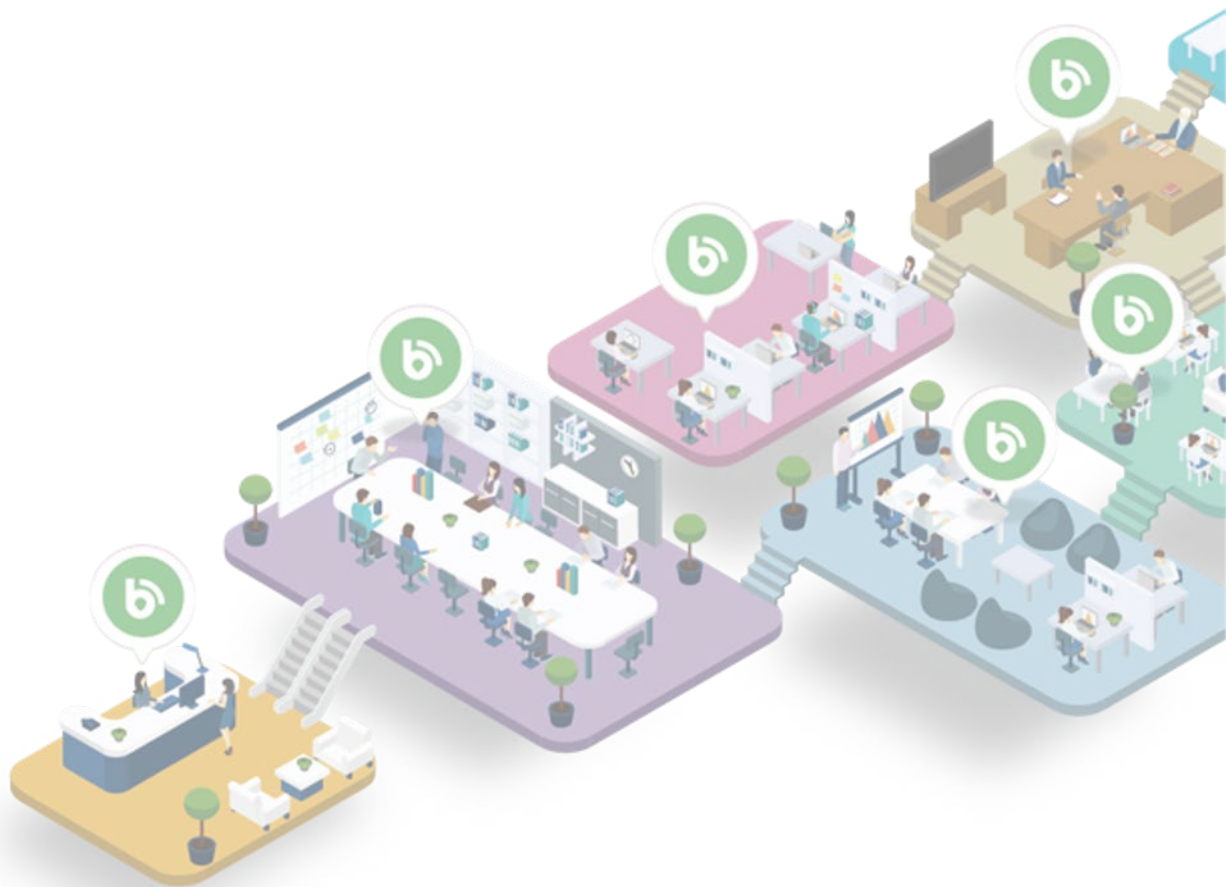
<b>A</b> 働き方分析	 (※) 	 
<b>B</b> 在館率	 	 
<b>C</b> 在席率	 	 
<b>D</b> スペース稼働率	 	 
<b>E</b> スペース利用人数	 	 
<b>F</b> 遭遇量調査（部署）	 	 

(※)  人力調査

ビーコンやセンサーを利用することで長時間・長期間の調査が可能となりました。  
レポートも翌日には閲覧可能で部署や期間の絞り込みも自在です。

調査方法	人力調査 	
調査期間	通常2週間程度。 調査期間が短いため、誤った分析結果 となるリスクがある	1ヶ月以上の長期間調査が可能
調査時間	ビジネスタイムのみ。 (9:00~17:00) 土日は不可	24時間、365日の調査が可能
セキュリティ	調査員がオフィスに入室するため セキュリティの懸念あり	ビーコン・センサーでログ取得 するため懸念なし
レポート	手作りのため時間がかかる 修正があった場合コストがかかる	取得したログは翌日にはグラフ化 期間の変更も自在に対応

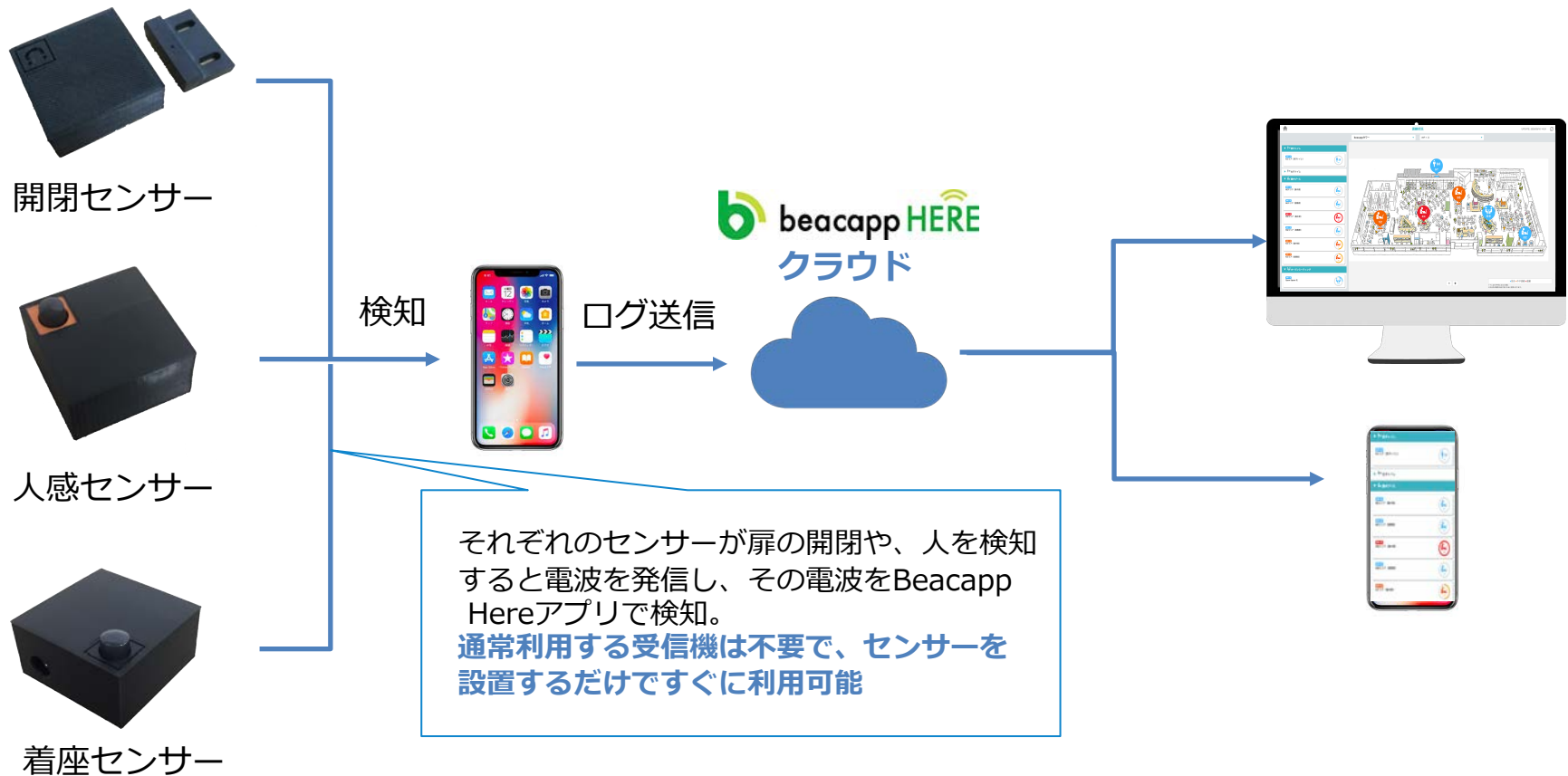
## 5 空きスペース検索オプション



## フリーアドレスオフィスにおける打ち合わせスペース、集中ブース、トイレなどの共用部の満空情報をリアルタイムで表示するオプションサービスです

センサー種類	特長	検索オプションにおける用途
 開閉センサー	マグネットを用いた開閉センサー。 扉に設置し、扉が閉まると電波を 発信する	 トイレ個室
 人感センサー	赤外線を用いた人感センサー。 人やモノの動きを検知し電波を 発する。 ガラスを透過しないため、ガラス 張りの部屋なども正確に検知可能	 会議室・MTGエリア      カフェ
 着座センサー	赤外線と温度を計測する着座センサー。 動きがないと電波が出ない人感センサー の弱点を補完。 赤外線と人の温度を計測することで、 動きがない人の存在を正確に検知する	 集中席

すべてのセンサーの検知信号をスマホで受信し、スマホのLTEの回線でクラウドに送信することが可能です。通常必要な専用の受信機は不要。センサーを設置するだけで利用開始できます。



センサーを設置したエリアのどこが混雑しているかがわかりやすく表示されます。  
新型コロナウイルス対策における三密エリアの特定にも利用が可能です。

混雑状況
UPDATE: 2020/03/10 14:31

beacappタワー
09F-1 北

▼ M 男子トイレ

09F-1 北  
Nエリア (男子トイレ)

07

▶ W 女子トイレ

▼ 集中ブース

09F-1 北  
NEエリア (集中席)

02

09F-1 北  
NEエリア (窓際席)

03

09F-1 北  
NWエリア (集中席)

4/4

09F-1 北  
NWエリア (窓際席)

04

09F-1 北  
Nエリア (集中席)

1/2

09F-1 北  
Nエリア (窓際席)

3/5

▼ オープンミーティング

09F-1 北  
Open Space 北

05

③ 左側のリストをクリックすると、その施設の場所が強調表示されます

② 混雑状況は3段階で色により分かりやすく表示されます

1/11

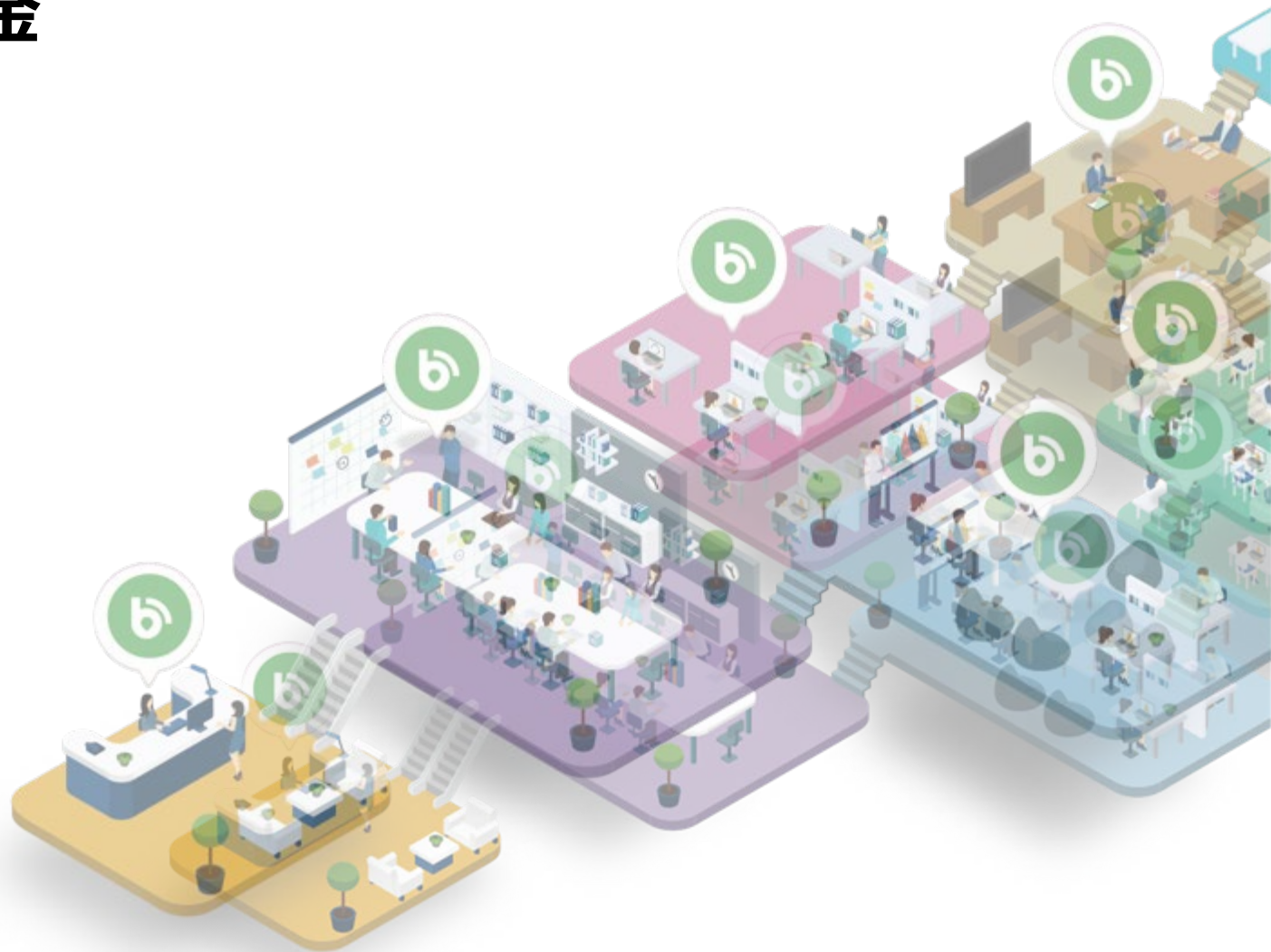
2/3

3/4

● 空き ● やや混雑 ● 混雑

トイレは1分不在になると空き、それ以外の場所は3分不在になると窓際となります。

6 利用料金



## 最大2ヶ月間、トライアルを実施することができます。

区分	項目	数量	金額（税別）
イニシャル	システム導入初期費用	一式	400,000 円
イニシャル	環境構築費用 ※Beacon登録/設置/検証作業（15エリアまで）		
ランニング	月額利用料(最大2ヶ月分) ※ビーコン設置箇所15エリアまで（利用者数50名まで）		

項目	ご参考価格
ビーコン費用	3,000円/台（初期設定含む）
受信端末	通信キャリア様等で個別お見積もり

条件
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数及び検知エリア数が変動する場合、利用料や構築費も変動いたします。</li> <li>ログを収集に必要な受信端末は通信キャリア様等から、ご用意頂く前提です。</li> <li>ビーコン端末の保守費用は含まれておりません。</li> <li>位置情報の精度を100%保証するものではありません。</li> <li>ビーコンの設置後、1ヶ月間は現地でのサポートを無償で行いますが、それ以降の現地サポートは有償となります。</li> </ul>



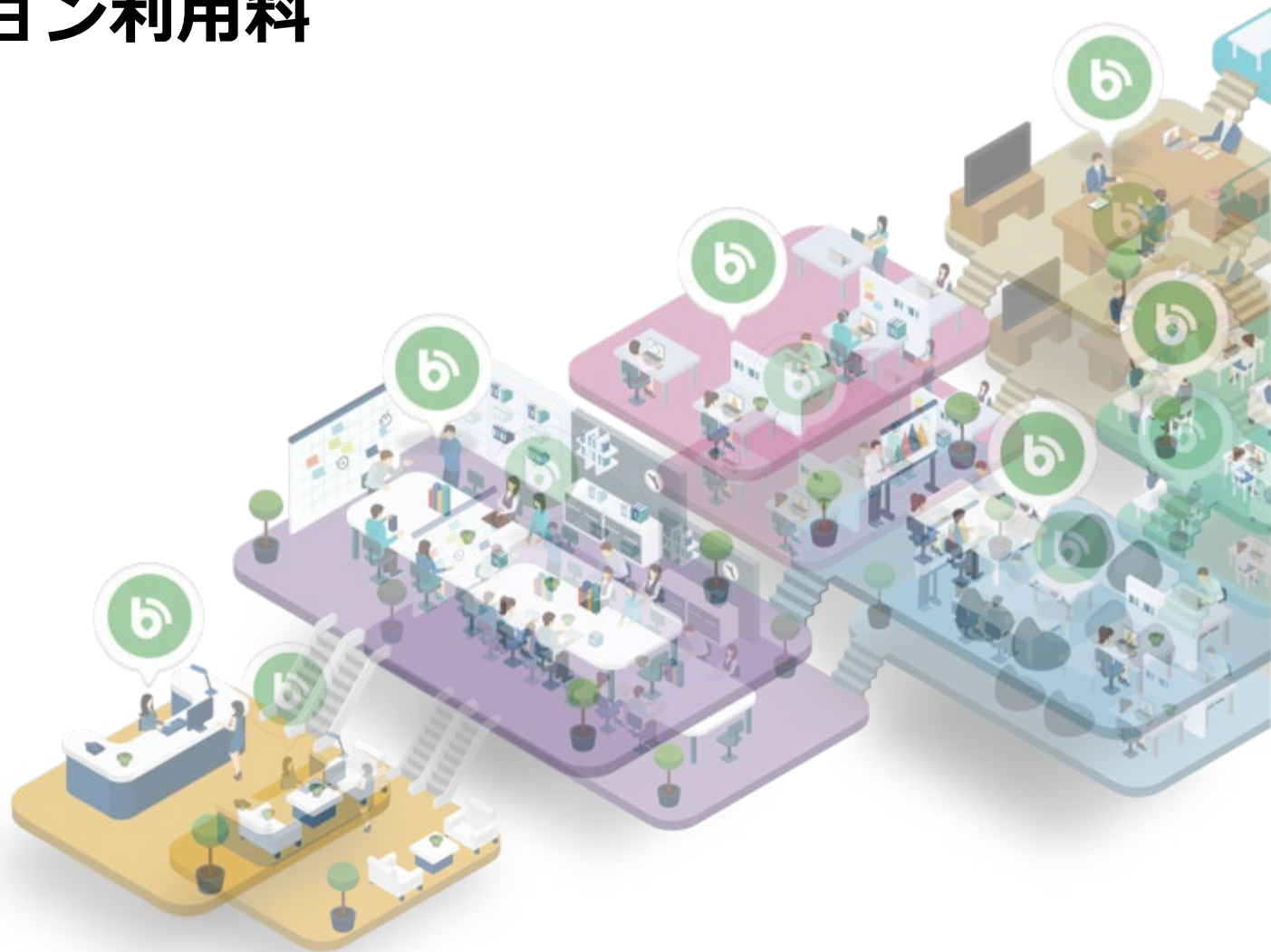
標準的なサービス利用料です。エリア数や利用者数に応じて、価格は変動します。

区分	項目	数量	金額（税別）
イニシャル	システム導入初期費用	一式	200,000 円
イニシャル	環境構築費用 ※Beacon登録/設置/検証作業（50エリアまで）	一式	300,000 円
ランニング	月額利用料 ※ビーコン設置箇所50エリアまで（150名まで）	1ヶ月	100,000 円



項目	ご参考価格
ビーコン費用	3,000円/台（初期設定含む）
受信端末	通信キャリア様等で個別お見積もり

条件
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数及び検知エリア数が変動する場合、利用料や構築費も変動いたします。</li> <li>ログを収集に必要な受信端末は通信キャリア様等から、ご用意頂く前提です。</li> <li>ビーコン端末の保守費用は含まれておりません。</li> <li>位置情報の精度を100%保証するものではありません。</li> <li>ビーコンの設置後、1ヶ月間は現地でのサポートを無償で行いますが、それ以降の現地サポートは有償となります。</li> </ul>

## オプション利用料





## 短期調査向きのフルパッケージ版とファシリティの利用状況のみにフォーカスしたLiteの2つのプランがあります（※）

エディション		
利用方法	短期調査向き (2ヶ月が目安)	長期で施設の稼働率のみを 把握したいユーザー向き
スペース稼働分析	○	○
働き方分析	○	○
在席・在館分析	○	×
遭遇量分析	○	×
特長	オフィス移転などの際に、利用状況をあらゆる角度で詳細に分析したいユーザー向きのフルパッケージ版	最もニーズの高いファシリティの利用率や働く場所のみを、長期間に亘って把握したいユーザー向きのLite版

（※）通常はLiteをご契約頂き、短期調査時のみProに変更することも可能です

## 利用目的に応じた2つのプランより選択可能です

エディション	 beacapp HERE PRO	 beacapp HERE PRO Lite
環境構築費	700,000円	300,000円
設置費用	500,000円	500,000円
初期費用合計	1,200,000円	800,000円

月額利用料	250,000円	50,000円
-------	----------	---------

### ご利用上の諸注意

- 概算でのお見積もりになりますので、条件の決定後に詳細お見積りを致します
- ご利用にあたってはログを取るために別途Beacapp Hereの月額利用料が発生します
- ビーコン端末の実機費用（3,000円/台）は含まれておりません。短期利用の場合レンタルのご提供も可能です（在庫によって対応できない場合もございます）
- 設置費用は設置するビーコンの数によって変動致します
- センサーを利用する場合、センサーのレンタル料金が発生致します
- Beacapp Hereからの切替時は環境構築費と月額利用料のみが追加となります
- ビーコンやセンサーの精度は100%を保証するものではありません

## 設置するセンサーの個数により変動いたします

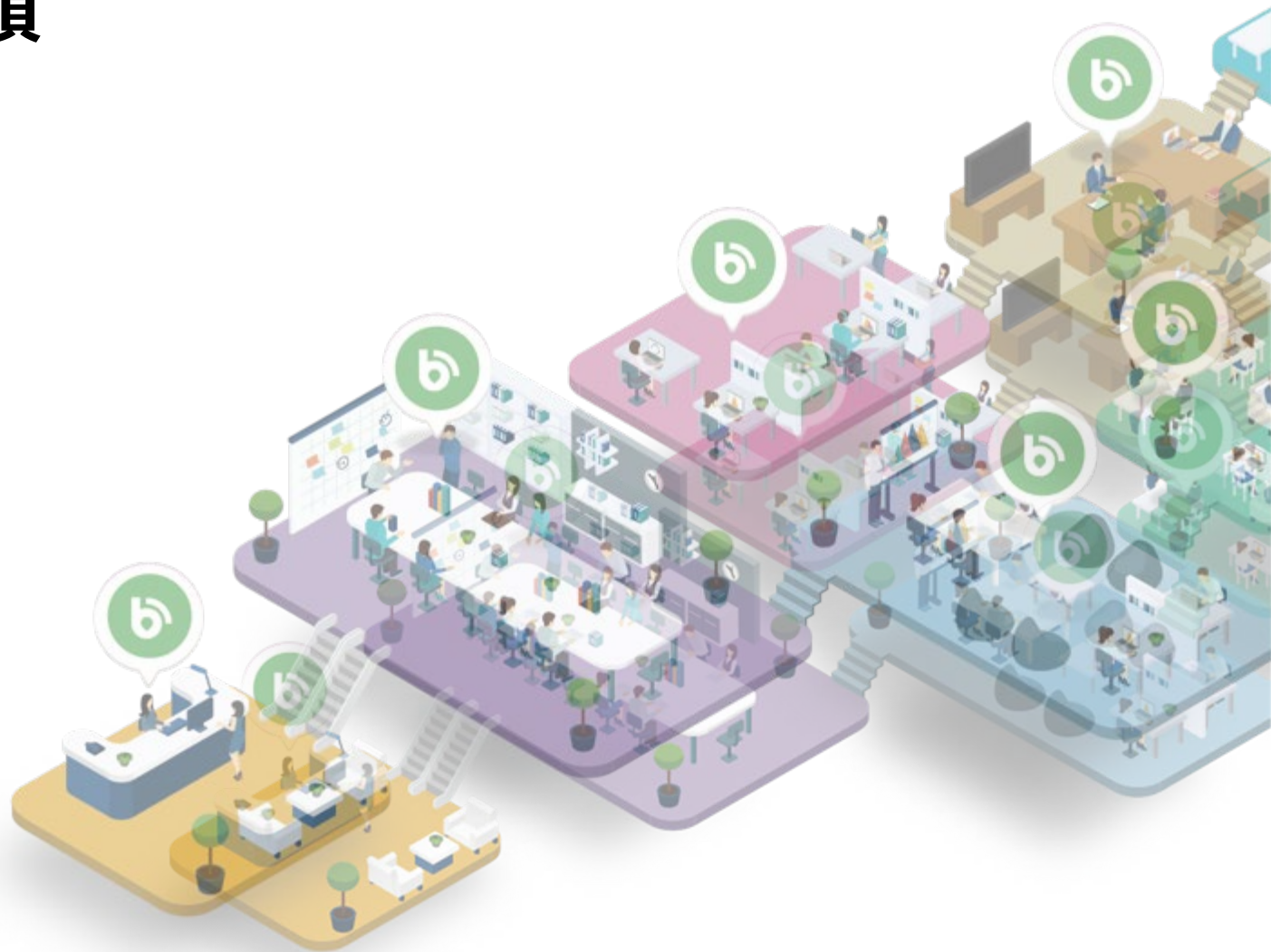
環境構築費	100,000円
設置費用	100,000円
初期費用合計	200,000円

月額利用料	100,000円
-------	----------

### ご利用上の諸注意

- 概算でのお見積りになりますので、条件の決定後に詳細お見積りを致します
- ご利用にあたってはBeacapp Hereの契約があることが前提となります。本サービスのみのご契約はできません。
- センサーのレンタル料は含まれておりません。
- 設置費用は設置するセンサーの数によって変動致します
- センサーの精度は100%を保証するものではありません

**8** 注意事項



## スマホ持ち歩き/併用版の運用上の注意点について

### ①必ずアプリにログインして頂く必要があります

アプリの利用者様には初回に1度だけアプリにログインして頂く必要があります。

### ②iPhoneのBluetoothを常時「ON」に設定頂く必要があります

アプリの利用者様には、端末のBluetoothを常時ONに設定頂く必要があります。  
Bluetoothを切った場合、ビーコンを検知できなくなります。

### ③iPhoneの位置情報を「常に許可」に設定頂く必要があります

アプリの利用者様には、端末の位置情報の利用を「常に許可」に設定頂く必要があります。  
位置情報を「常に許可」以外に設定した場合、バックグラウンドでビーコンを検知できなくなります。

アプリへの未ログイン状態のユーザー様、ビーコンを検知していないユーザー様については管理者画面にて、特定が可能となっておりますので、定期的な利用者様への周知活動にご協力をお願い致します

## ビーコン持ち歩き版の運用上の注意点について

### ①受信機のiPhoneの電源が落ちているケースがあります

ユーザー様が電源を抜いてしまう、または、ビル全体の停電などにより受信機となっているiPhoneの電源が落ちているケースがあります。受信機の電源が抜かれている場合、ビーコンを検知できなくなります

### ①受信機のiPhoneのアプリが終了しているケースがあります

電源落ちからの復旧時や、予期せぬOSのアップデート通知などによりアプリが終了してしまうケースがあります。その場合、ビーコンの検知精度が若干低下致します

弊社から週に1回以上、端末の状況についてご案内を致しますので、検知がストップまたは悪化している端末については復旧作業にご協力をお願い致します

## スマートフォンを持ち歩く場合

本サービスを利用するための通信費等の費用は、お客様の負担となります。

位置情報の精度については、ビーコンの設置環境及び利用者の携帯電話機種に依存します。位置測位時の場所や環境条件により、精度が変化するため100%の精度を保証するものではありません。

スマートフォンについては、一般的な所持（手に取る・首からぶら下げる）を想定し、検証して納品致します。スマートフォンの状況（ポケットに入れる、カバンに入れる等）によっては正しく表示されない場合があります。

ビーコン設置環境によっては、お客様のご要望とする検知エリアに設置できない可能性があります。

設置したビーコンの稼働状況（電波発信の有無や電池の交換時期など）については、本サービスでは管理しておりません。

本サービスを利用するためには位置情報とスマートフォンのBluetoothの有効化が必要となります。それによるセキュリティ対策（OSアップデートやセキュリティパッチの適用）についてはお客様の判断で実施してください。

利用するスマートフォンは基本的にはキャリア回線を利用したインターネット接続を前提といたします。社内のWi-Fiを利用する場合、ネットワーク機器等の影響で正しく動作しない可能性がありますので、お客様または販売代理店による事前の検証を推奨いたします。

本サービスは、予告なしに内容の変更やメンテナンスのため運用を停止する場合があります。

## ビーコンを持ち歩く場合

本サービスを利用するための受信端末の通信費等の費用は、お客様の負担となります。

位置情報の精度については、ビーコンの設置環境及び受信端末の機種に依存します。位置測位時の場所や環境条件により、精度が変化するため100%の精度を保証するものではありません。

ビーコンについては、一般的な所持（手に取る・首からぶら下げる）を想定し、検証して納品致します。ビーコンの状況（ポケットに入れる、カバンに入れる等）によっては正しく表示されない場合があります。

受信端末の設置環境によっては、お客様のご要望とする検知エリアに設置できない可能性があります。

配布したビーコンの稼働状況（電波発信の有無や電池の交換時期など）については、本サービスでは管理しておりません。

本サービスを利用するためには受信端末のBluetoothの有効化が必要となります。それによるセキュリティ対策（OSアップデートやセキュリティパッチの適用）についてはお客様の判断で実施してください。

本サービスは、予告なしに内容の変更やメンテナンスのため運用を停止する場合があります。

受信機として利用するスマートフォンは基本的にはキャリア回線を利用したインターネット接続を前提といたします。社内のWi-Fiを利用する場合、ネットワーク機器等の影響で正しく動作しない可能性がありますので、お客様または販売代理店による事前の検証を推奨いたします。

受信機のスマホの個体差により安定稼働まで時間がかかるケースがございます





## 併用版をご利用頂く場合

本サービスを利用するための通信費等の費用は、お客様の負担となります。

位置情報の精度については、ビーコンの設置環境及び利用者の携帯電話機種に依存します。位置測位時の場所や環境条件により、精度が変化するため100%の精度を保証するものではありません。

社員様が持ち歩いているスマートフォンを受信機として利用するため、スマートフォンを持っている社員様の割合が低い場合、正しい場所に表示されない可能性が高まります。フロアには70%以上のスマートフォン利用者が滞在している環境で利用されることを推奨しています。

スマートフォンについては、一般的な所持（手に取る・首からぶら下げる）を想定し、検証して納品致します。スマートフォンの状況（ポケットに入れる、カバンに入れる等）によっては正しく表示されない場合があります。

ビーコン設置環境によっては、お客様のご要望とする検知エリアに設置できない可能性があります。

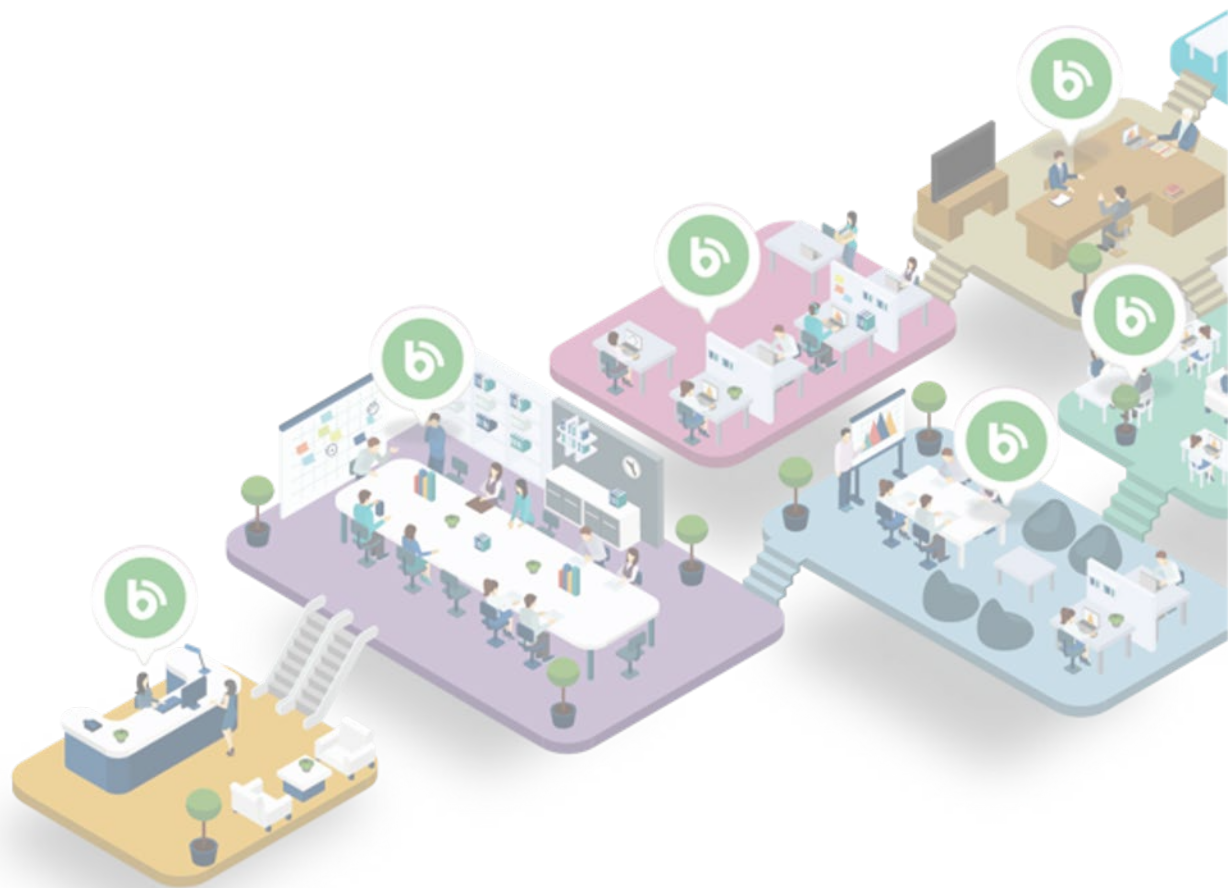
設置したビーコンの稼働状況（電波発信の有無や電池の交換時期など）については、本サービスでは管理しておりません。

本サービスを利用するためには位置情報とスマートフォンのBluetoothの有効化が必要となります。それによるセキュリティ対策（OSアップデートやセキュリティパッチの適用）についてはお客様の判断で実施してください。

利用するスマートフォンは基本的にはキャリア回線を利用したインターネット接続を前提といたします。社内のWi-Fiを利用する場合、ネットワーク機器等の影響で正しく動作しない可能性がありますので、お客様または販売代理店による事前の検証を推奨いたします。

本サービスは、予告なしに内容の変更やメンテナンスのため運用を停止する場合があります。

## 9 メディア掲載事例



働き方改革のビーコンテックとして、「Beacapp Here」の記事が掲載されました。

# 日本経済新聞

朝刊・夕刊    ストーリー    Myニュース    日経会社情報    人事ウォッチ    日経ビジネス

有料会員

トップ   速報   マネー   経済・金融   政治   ビジネス   マーケット   テクノロジー   国際   オピニオン   スポーツ   社会・暮らし   地域   文化   ライフ

記事・株価を検索

## 新型コロナ対策の働き方変革、ビーコンテックが後押し

働き方改革   日経産業新聞   コラム (ビジネス)   スタートアップ

2020/3/25 2:00 | 3304文字 [有料会員限定]

保存   共有   印刷   共有   共有   共有   共有   その他

NIKKEI  
BUSINESS DAILY  
日経産業新聞

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、企業は在宅勤務やオフィスでの社員同士の密集を避けるなど、様々な働き方改革を迫られている。そこで注目を集めるのが電波発信機「ビーコン」だ。スマートフォンと連動して社員や顧客の位置情報を把握し、業務を効率化する。1個あたり数百円にすぎない単純な機器が、悩める多くの企業に解決策を提示している。

### ビーコンの応用範囲が広がっている

**ビーキャップ**  
社員の動きを可視化

beacapp

中垣雄社長

### アクセスランキング

一覧 >

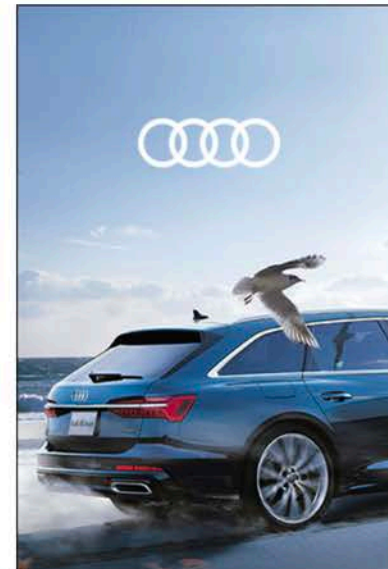
1. 緊急事態宣言、都と国の調整続く 理髪店は休業要請せず



2. 愛知、独自の緊急事態宣言へ あす午後に関事表明



3. 日産、5000億円融資枠要請 三菱メガバンクと政投銀に



## アスクル株式会社の「みんなの仕事場」に弊社代表のインタビュー記事が掲載されました

### みんなの仕事場



Powered by ASKUL Furniture

オフィスを改善するヒントになるサイト

みんなの仕事場 > 専門家に聞く！ > 社員が「いつ・どこに・何人いるか」を見える化！ビーコン活用の最前線～株式会社ビーキャップ「Beacapp Here」「Beacapp Here Pro」

…………… 専門家に聞く！ ……………

社員が「いつ・どこに・何人いるか」を見える化！  
ビーコン活用の最前線～株式会社ビーキャップ  
「Beacapp Here」「Beacapp Here Pro」

カテゴリ：

[インタビュー](#) [働き方を考える](#) [専門家に聞く！](#)

🕒 2020/01/22

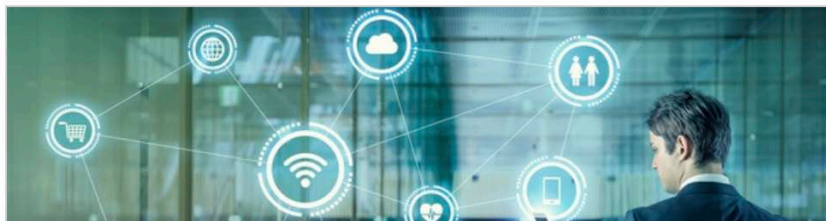
👍 いいね！ 5

🔗 シェア

🐦 ツイート

📞 LINEで送る

🔖 B! ブックマーク



ビーキャップの中垣雄氏（代表取締役社長）にお話を伺いました。

同社のビーコンシステム「Beacapp Here（ビーキャップ・ヒア）」は、もともとは工場や物流センター向けに開発されたもの。思いもよらず、オフィスで利用したいとの要望が寄せられ、オフィス用としても提供を始めたというユニークな経緯のサービスです。



中垣雄氏（株式会社ビーキャップ 代表取締役社長）



G空間情報を活用した救助システム及び消防活動に関する検討会において、屋内測位システムにBeacappHereが採用されました。

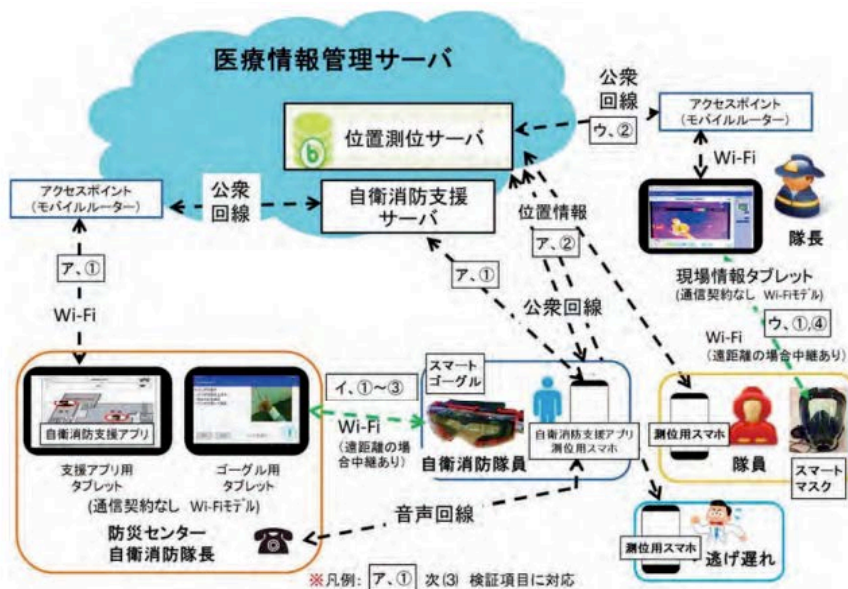


図 2-3 実験システム図

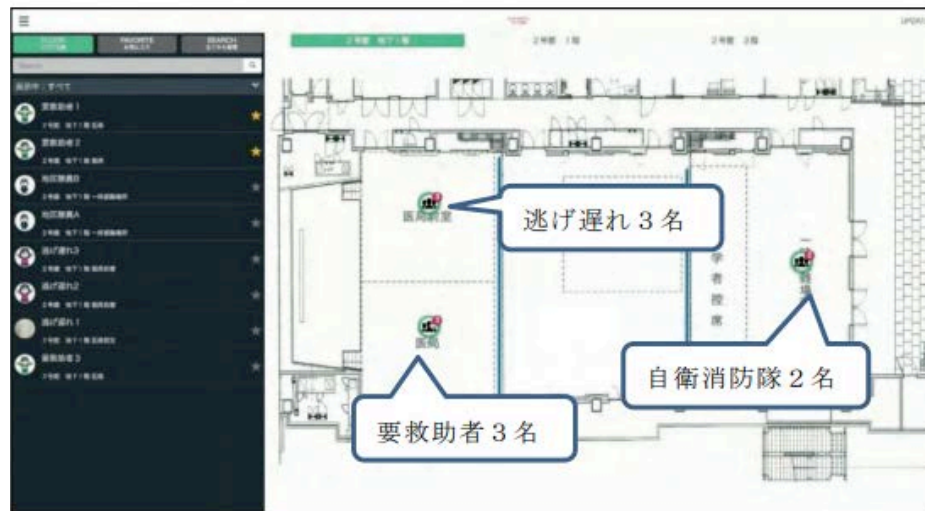


図 2-4 位置情報システム 測位画面

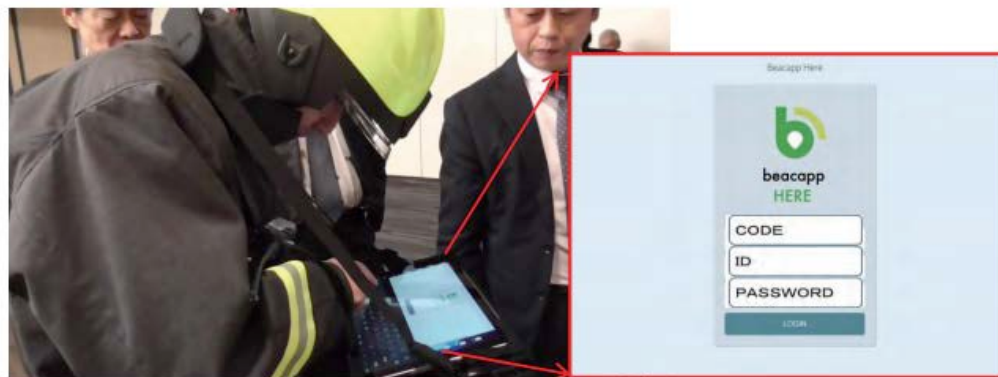


図 2-11 位置情報システムへの接続 (右：ログイン画面)



[info@beacapp.co.jp](mailto:info@beacapp.co.jp)

— 新しいユースケースに挑む —



株式会社ビーキャップ

東京都中央区日本橋人形町2-9-7 3F

TEL: 03-6673-9781

Mail: [info@beacapp.co.jp](mailto:info@beacapp.co.jp)

URL: <https://www.beacapp.co.jp/>